



迎春

新年あけまして
おめでとうございます

2024

勝利の1年へ本年もご支援
を宜しくお願い致します

千葉刑務所から届いた映次さんの年賀状

激動の2024 再審開始を勝ち取ろう！！

元旦に能登半島で大地震。正月2日には羽田空港で日航機と海保機衝突事故。大変な年明けとなってしまいましたが、犯罪者の濡れ衣を着せられている冤罪犠牲者にはクリスマスも正月もありません。どんなに空が青く、澄み切っている、お前は犯罪者だと言われる苦しみ。冤罪は人生を奪います。袴田事件が再審開始を勝ち取りました。日野町事件にも再審開始決定が出ましたが検察が特別抗告。まだまだ冤罪が増えています。この国は一体どうなっているのでしょうか。鈴鹿殺人事件も大きなヤマ場に差し掛かっていることは間違いありません。引き続きご支援・ご協力をお願い致します。
(加藤映次さんを守る会 / 会長・伊藤三重男)

無実の叫び

いつもご支援有難うございます。そして新年明けましておめでとうございます。このコラムを書いているのは12月上旬のため、12月19日の三者協議がどんな展開になったかは分かっていません。前回10月31日の協議で全く進展がなかったので不安に思っていますが、せめて少しでも希望を持った形で新たな年を迎えられたらいいな、と思っています。進展がないのは、検察が逃げの一手で裁判所からの指示にも対応しないのが原因ですが、いつまでも逃げ通せるものではなく、2024年が勝負を決める年になるのは間違いありません。再審の開始と即時釈放を実現する年にするべく、弁護団とともに頑張っていきますので、引き続きご支援とご協力をお願い致します。

中での生活は12月に入り、寒さが堪えるようになってきました。辛い冬の始まりです。この冬から居室棟の廊下にもストーブが設置されましたので、寒さも少しは軽減されるかもしれません。(今のところ一度も稼動していません。)

先日、クリスマス会(キリスト教による観劇など)がありましたが、11月にはソフトボール大会があり(初戦で敗退)、今は年明けに予定されている卓球大会と囲碁・将棋大会に出場すべく選手選考の予選で頑張っているところです。負け運はこういうどうでもいいところで使い切っちゃいたいですね。

コロナ禍が明けてレクリエーションを楽しめるようになったのはせめてもの救いです。楽しみを